

降誕前第8主日礼拝

2022年10月30日 午前10時30分

司会 : 出席役員
奏楽 : 奏楽奉仕者

前奏		
招詞		司会者
頌栄	真理は主イエス・キリスト	
交読	詩編 137編	一同
聖書	ヨハネの黙示録 第3章20～22節	(新)p.457
祈禱		司会者
讃美歌	21-482番	一同
使徒信条	21-93番(4-A)	一同
讃美歌	21-515番	一同
説教	「一緒に食事をしよう」	牧師
祈禱		牧師
讃美歌	21-430番	一同
献金	困難にある人々への連帯を祈りつつ	
感謝		献金奉仕者
主の祈	21-93番(5-A)	一同
讃美歌	21-92番	一同
祝禱		牧師
後奏	(黙禱)	奏楽奉仕者

一からだのご不自由な方はお座りのままでどうぞー

- 礼拝前は静かに心を整えましょう。
- 聖書にあらかじめ目を通しましょう。
- 祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。
- 礼拝後は、交わりの時を。

【2022年度年間聖句】

後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ
目標を目指してひたすら走ることです。
(フィリピの信徒への手紙3章13b～14節)

【今週の祈り】

- ・東日本大震災の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・曳舟教会と小国礼佳牧師のために。

【本日の集会】

- ・10:20-10:30 礼拝準備祈禱会
- ・10:30-11:30 主日礼拝
- ・11:30-11:45 聖書通読: エレミヤ25章(旧)p.1223
- ・11:45- 讃美歌練習指導: 奏楽奉仕者
- ・12:00- お茶の会(自由参加です)

【今週の集会】

- ・聖研祈禱会 11月3日(木・祝)10:30-11:30
マルコ福音書3章1～6節(新)p.65

【次主日の案内】

- ・聖徒の日・永眠者記念礼拝11月6日10:30-11:45
司会 : 出席役員 配餐 : 配餐奉仕者
交読 : 詩編 138編
聖書 : ヨハネ福音書11章17～27節 p.189
説教 : 「たとい死んでも生きる」 三原牧師
献金 : 献金奉仕者
奏楽 : 奏楽奉仕者
讃美歌: 21-385(花彩る春を)
21-382(力に満ちたる)
(聖餐式 21-78(わが主よ、ここに集い))
- ・聖書通読 エレミヤ書40章(旧)p.1252
- ・讃美歌練習指導: 奏楽奉仕者

★ 次主日は「聖徒の日・永眠者記念日」

死者の埋葬の後で、時を定めて死者を記念することは、
初代教会の時代からいろいろな形で行われていました。

カトリック教会では「死者のためのミサ」…その礼典の最初の部分の入祭文が「レクイエム・エテルナム」(永遠の休息を)という句で始まるので、普通レクイエムと呼ばれる…そしてプロテストでは記念会と呼ぶ集会を行うのが普通…これら個人の記念日は日本の通常の過程で行われる法事と呼ばれるものにあたります。しかし、お盆やお彼岸のような、死者一般を覚える日として永眠者記念日があります。

基本的にキリスト教では、すべての死者は、既に、神の手の中に抱かれているので、死者が迷わず成仏するようとか、冥福を祈るという考え方はありません。だから、死者を覚えるとか、記念するという言い方をします。「聖徒の日」というのは、いわゆる「聖人」ではなくて、広い意味での「信徒」とか、「信仰者」という意味です。

■ 集会報告

準備祈禱会	10月23日(日) 男3、女9、計12名
主日礼拝	10月23日(日) 男3、女9、計12名
聖研祈禱会	10月27日(木) 男1、女2、計 3名

◎ 個人情報保護の観点から、牧師以外の礼拝奉仕者並びに献金者の個人名は伏せさせていただきました。当伝道所は、教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられています。心から感謝申し上げます。